

きょう解禁 あゆやな漁

延岡水郷 鏡開きで開始祝う

延岡の秋の風物詩、あゆやな漁がきょう解禁される。併せて延岡市大貫町のかわまち交流広場で

「延岡水郷鮎(あゆ)やあゆやな」の営業が始まった。11月30日まで。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、かわまち交流館内にある食事棟の運営は取りやめ、テイクアウトや河川敷いりり席での食事提供を行う。

延岡観光協会(谷平興二代表理事)主催のオープン式には関係者約120人が出席。谷平代表理事は「多くの方の協力のおかげでこの日を迎えることができた。市民の笑顔いっ

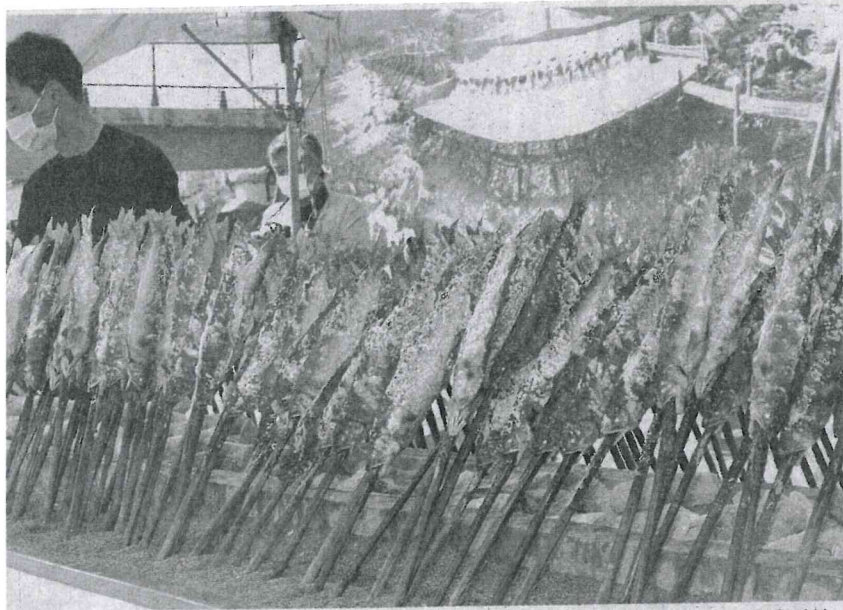
ぱいの交流広場になれよ」とあいさつ。読谷山洋司延岡市長や吉玉典生延岡商工会議所会頭ら来賓とともにテーブルカットや鏡開きでオープンを祝った。会場では試食会もおり、出席者は焼きたてのアユの味を楽しんだ。

今年、きょうから15日までテイクアウトのみ営業。16日以降は河川敷設置のいりり席(20テーブル、1テーブル最大8人)で食事を提供する。提供事業者の「国技館」によると、テイクアウトメニューはアユの塩焼きなど4種類で価格は460〜660円(税抜き)。いりり席の料金は近日常に決定するという。同協会によると、伝統

漁法「あゆやな」の架設は2日ごろから始め、23日ごろの完成を予定しているという。

15日連続で陽性者なし

県内の新型コロナウイルス感染者の確認は報告されなかった。29日に10件のPCR検査を実施し、15日間連続で全て陰性だった。これまでに感染が確認された365人のうち、引き続き1人が入院している。



特設された焼き場に並ぶアユの塩焼き。試食会で提供された(きょう午前)